

## 中国・小売業 No.1 の大手 EC&インフラカンパニー<sup>ジンドン</sup>京東集団【JD.com】 レベル 4※1 クラスの自動運転配送車を初披露

高精度の自動運転により「ラストワンマイル」の浸透を促進

中国市場を牽引する EC サイト「<sup>ジンドン</sup>京東商城 (JD.com)」を運営する中国・小売業 No.1 の大手 EC & 小売インフラカンパニー<sup>ジンドン</sup>京東集団（代表：劉強東 本社：中華人民共和国 北京市 NASDAQ:JD）は、2019 年 4 月 16 日に上海で開催された、上海国際自動車ショーにてレベル 4 クラスの自動運転配送車を初披露したことをお知らせします。



京東物流自動運転配送車は、京東物流 X 事業部が自動運転におけるソリューションと運用ソリューションを提供する自動運転配送車です。無人で倉庫から配送ターミナルへ、配送ターミナルから配達員までの運送を行います。本自動運転配送車の開発・製造にあたり、中国の EV 自動車メーカー奇瑞新能源（Chery New Energy）社が車体のシャーシ部分※2を提供し、イタリアのイコナ（ICONA）社が設計と製造を行いました。

車体には、高精度の測位を実現する RTK（Realtime kinematic）技術を利用した 5 つのレーザーレーダーが搭載されており、車線レベルの高精度測位が可能です。また、ディープラーニングのアルゴリズムに基づき、車両や歩行者、障害物、車道ライン、信号機、交通標識などの情報を正確に識別することができます。また、モデル予測制御（MPC）技術の採用と意思決定アルゴリズムを結合させることにより、車線の保持や追い越し、前車への追従、縦列駐車、車庫入れなどを実現しています。

京東物流では自動運転技術の発展に力を入れ、技術研究・開発を行い、積極的に自社の業務ソリューションに取り入れています。現在では「ラストワンマイル」の革新的な試みとして、隔離エリアや公道などの大量のデータを蓄積しています。「ラストワンマイル」を担う京東物流の末端配達ロボットは、現時点で北京、西安、雄安など全国約 20 都市で稼働しており、長沙市やフフホト市には世界初となるロボットによるスマート・配送ステーションを建設しました。

これからも京東は中国国内における「小売業者 No.1」「物流網 No.1」※3 という強みを活かし、積極的なイノベーションを継続させながら、「ボーダーレスリテール※4」の実現に向けて技術発展を目指してまいります。

※1 高度運転自動化。一定の路線や自動車専用道路、空港の敷地内など、限定された領域においてドライバーを必要としない自動運転が可能となるレベル。

※2 自動車のフレーム、枠組み部分。

※3 出典：「JD.com Inc 1Q2018 Financial and Operational Highlights」( <http://ir.jd.com/phoenix.zhtml?c=253315&p=irol-irhome> )

※4「ボーダーレスリテール」とは：京東が提唱する、オンラインとオフライン( 実店舗 )、物流機能まで融合させたビジネスの総称です。消費者にいつでも・どこでも、オン・オフラインの境界線すらも越え快適に消費できる環境を提供する世界です。京東はこの「ボーダーレスリテール」を、小売業のあるべき姿と考え、そこに近づくためのサービスを提供しています。京東劉 CEO はこの「ボーダーレスリテール」について、「シーンは無限、貨物に国境は無く、人と企業の間にも壁はない」と話しています。

#### 【自動運転配送車概要】

全長	： 3.5m
サイズ	： Aクラス
容量	： 4,000L
サスペンション	： ストラット式
最高時速	： 80km/h
最大航続距離	： 410km
最遠軸距	： 2,150mm



#### 【会社概要】

- ・会社名： JD.com 京東日本株式会社
- ・所在地： 〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-1-1  
大手町パークビルディング 7 階 703
- ・TEL： 03-6259-1951
- ・資本金： 3,000 万円
- ・代表者： 日本業務最高責任者 荒井伸二
- ・業務内容： 越境 EC の進出支援、日中間の一般貿易及び技術提携窓口